

3 学年 情報研究 シラバス

担当教諭

履修のあり方

科目名	必修／選択	単位数	学 年	クラス
情報研究	選択	2 単位	3 学年	1・2・3・4 組

1. 概要及び目標

【情報の概要と目標】

情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における情報の意義や役割理解させるとともに、高度情報通信社会の諸課題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

2. 評価の観点及び評価方法

評価の観点	評価内容	評価方法
関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために進んで情報及び情報技術を活用し、情報社会に対応できるようにする	コンピュータや情報通信ネットワークなどに関心を持ち、身の回りの問題解決を通して情報を主体的に活用することができる。
思考・判断・表現	情報活用の方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルをふまえた適切な判断をする。	情報を収集・処理・発信する方法を工夫したり、結果を踏まえて改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。
技能	プログラムの実行結果から、問題を発見・解決を遂行していく力を身に付けさせる。	プログラムの製作工程から、解決しなければならない問題を見出し、分析、改善することができる。
知識・理解	情報および、情報技術を活用するための応用的な知識を身につけるとともに、現代社会における情報の意義や役割を理解している。	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけるとともに、情報社会における情報技術の役割や影響を理解している。

3. 使用教科書教材等

特になし

4. 授業の展開と形態

3 学年選択クラスで行う。主にコンピュータ教室を使用する。

5. 学習方法

- ・年間計画を参考にし、各自で授業の計画を立て、予習や復習に生かすように工夫する。
- ・半数以上は実習とする
- ・授業で与えられた宿題や課題等は、きちんとこなし、提出期限を守ること。
- ・授業中は私語を慎み、意欲的に取り組むなど、授業に集中すること。

6. その他（履修上の注意）

① 履修・修得における注意点

- a). 欠課時数が総時数（2単位×35週＝70時間）の3分の1（24時間）を超えた生徒は履修を認めない。
- b). 時数が不足している生徒のうち、正当な理由がある生徒については、原則として6時間については補充を行う。
- c). 学年末の評定が「2」以上の生徒は、単位を修得したものと認める。

② 授業における注意点

- a). 教科書やその他授業に必要な教材は、必ず持参して授業を受ける。
- b). 私語や居眠り、怠慢な態度、授業の妨害する行為を行わない。減点の対象となる。
- c). 提出物や課題は、期限をきちんと守り提出する。

7. 年間授業計画

月	項目	指導内容	配当 時間	累積 時間
4	オリエンテーション	自己紹介、年間授業計画、評価、検定の説明	2	2
	検定対策	タイピング練習、表計算検定 3級	4	6
5	表計算ソフトの活用	タイピング練習、表計算検定 3級, 準2級	8	14
6	表計算ソフトの活用	タイピング練習、表計算検定 準2級	8	22
7	表計算ソフトの活用	タイピング練習、表計算検定 2級	6	28
9	表計算ソフトの活用	タイピング練習、表計算検定 2級	8	36
10	表計算ソフトの活用	タイピング練習、表計算検定 2級	2	38
	アルゴリズム	三大制御（順次, 条件, 繰り返し）について理解する 変数について理解する	2	40
	プログラム	Scratchでゲームを作成する	4	44
11	卒業制作	Scratchでゲームを作成する	4	50
12				
1		卒業制作発表	20	70
2				